

## 2.22 CIM 解決研究会第 22 回勉強会のご報告

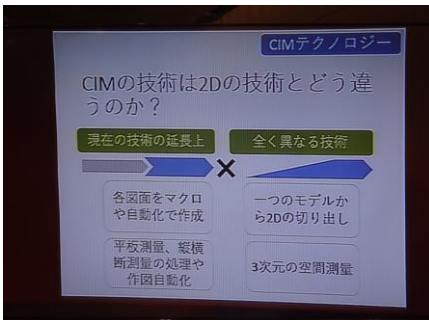
平成 29 年 2 月 22 日

CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、45 名の参加者を得て第 22 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

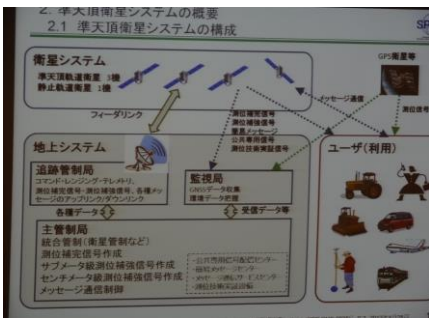
### 「CIM は生産性向上につながるか」 日本工営(株) 佐藤隆洋様

現在の CIM の導入状況に対しこのままの進め方でよいのかという疑問を投げかけた上で、CIM のゴールを投資効果が上がることに設定し、海外の製造業における BIM の事例や、CIM 導入のためにどのような人材が必要になるかといったお話を頂きました。参加者の方からは「目的設定が大変論理的なため、検証に役立つ取り組みに思えた」といった感想を頂きました。



### 「衛星測位の最近動向と準天頂衛星システムの概要」 SPAC 齋藤雅行様

GNSS とは何かを解説した上で、GNSS がどのような仕組みによって位置情報を出しているのか、どのように世界における時刻を決め、管理しているのかといったお話を頂きました。参加者の方からは「学術的な知識欲を刺激された」といった感想を頂きました。



### 「現場の 3 次元化事例等」 当会 齊藤学一、福士幹雄

ICT 建機を導入したもののサポート不足により契約破棄が発生した事例や、北陸地方整備局の工事書類を簡素化する取り組みの事例をあげ、ICT 施工は目的ではなく、あくまでも生産性向上のための手段であるといった話をさせて頂きました。参加者の方からは「実践的な内容で、帰ってすぐ社中に伝えたいと思った」といった感想を頂きました。



最後に、新たに当会参事に就任頂きました(株)ZnO ラボ代表取締役の山田晃男様の挨拶と、建通新聞に出稿した当会の広告に関する報告がありました。



勉強会終了後の懇親会には 23 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

